



2022年8月16日

世界食料デー大会実行委員会御中

2021年度「世界食料デー」のご報告

拝啓

世界に広がる飢餓・貧困問題の解決を願って、日本の国内で私たちに何が出来るかを考え、共に実践していくために、昨年も「世界食料デー大会」に取り組んで下さいましたことを心より感謝申し上げます。一昨年に引き続きコロナ禍にあった昨年は、各大会において何度も何度も検討を重ねていただき、あらゆる工夫を行っていただきながらご実施いただきました。その結果、昨年の世界食料デー募金総額は目標の2000万円を達成する額となりました。皆様のお取り組みに心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

2021年度の世界食料デー募金は、世界5カ国での地域リーダー育成、農業支援、妊産婦の栄養改善や学校給食支援等の働きに用いさせていただきました。詳細につきましては、報告書を添付させて頂きましたのでご参照下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年度世界食料デー募金総額(*)	横浜大会募金額
20,676,354円	513,035円

*白い家フェロシップチャーチのエチオピア指定募金を含む

ここに、心からの感謝をもってご報告させていただきます。

敬具

ハンガーゼロ（一般財団法人日本国際飢餓対策機構）

理事長 清家 弘久

世界食料デー事務局（東京事務所内） 近藤 高史・近藤 まどか

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



2021年度世界食料デー募金使途

収入金額		支出金額		
2021年度 世界食料デー 募金総額 (*1)	¥20,676,354	募金 送付	コンゴ民主共和国 地域リーダー育成、農業支援など	¥6,100,000
			ケニア 農業支援、学校給食支援	¥4,200,000
			エチオピア エイズ孤児などへの生活支援	¥2,640,000
			フィリピン 地域リーダー育成、教育支援	¥4,800,000
			インドネシア 妊産婦の栄養改善、農業支援	¥1,600,000
			事務経費(講演者旅費・教材作成費等)	¥451,479
			チラシなど印刷、ビデオ作成関係費用	¥884,875

(*1) 世界食料デー各大会募金額とその他世界食料デー指定募金合計
白い家フエロ・シツプチャーチのエチオピア指定募金を含む

2022年8月8日

上記のとおり報告いたします

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
〒581-0032 大阪府八尾市弓削町 3-74-1
TEL: 072-920-2225 FAX: 072-920-2155



世界食料デー事務局 近藤 高史



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-10CCビル 517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 ヌソソク米 202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



一般財団法人 Japanese International Fund for the Hunger
日本国際飢餓対策機構

世界食料デー2021 募金使途報告

インドネシア共和国

【妊産婦の栄養改善、農業支援】

ハンガーゼロは現地パートナーのFHインドネシアと協力して、メンタワイ諸島シブルット島の4つの集落で農家の生産能力の向上と妊娠・授乳期の女性の栄養改善をセットにした「統合農業・栄養バスケットプロジェクト」を実施しています。

野菜の栽培と養鶏をセットにした小規模統合農業の研修には、新型コロナの大流行による移動の規制があるにも関わらず、目標の100世帯を大きく上回る141世帯の農家が参加しました。その内の67世帯の農家が、実際に養鶏を始め、ほうれん草、ミニトマト、ナスなど多様な野菜を栽培するようになりました。研修後も定期的に会合を持って、肥料の作り方や害虫駆除、家畜の管理や野菜の栽培など、それぞれの気づきや学びを共有し、農業経営の知識や新しい技術の習得にも努めています。

一方、妊娠・授乳期の女性たちは、料理教室や会合での学びに参加して、発育阻害のことや、野菜から栄養を摂取することの重要性、子どもの健康などについて少しずつ理解するようになってきています。小規模統合農業に取り組んでいる農家から新鮮な野菜が供給され、1年を通して様々な野菜が入手できるようになったことで、母親たちは、料理教室で学んだいろいろなレシピを活用して栄養を摂り、母乳で子どもを育てたり、離乳食を作ったりするようになってきました。



農業研修会の様子



養鶏と合わせた野菜の栽培



妊娠・授乳期の女性への料理教室や学びの場

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-10CCビル 517号室

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

フィリピン共和国

【地域リーダー育成、教育支援】

ハンガーゼロは、現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ・フィリピン（HOLPFI）と協力して、東ミンドロ州ソッコロ県アルサビ村で、地域リーダーの育成に取り組み、地域住民による子どもの教育環境の改善を支援しています。

「村に学校を！」という思いで住民たちが設立に取り組んできたアルサビ小学校では、2021年12月の時点で、幼稚園から小学校4年生までの84人の生徒が4つの教室で4人の教師から学んでいました。新型コロナウイルスの大流行による移動制限などにより手続きが一部遅れてはいますが、教育省から正式に学校として認められ登録されました。それによって、政府から予算がつけられることとなり、今後、子ども達への教育が充実していくことが期待されます。

地域リーダーたちを対象としたリーダーシップトレーニングでは、HOLPFI スタッフに代わって3人の地域リーダーたちがスピーカーを務め、クリティカル・シンキング（批判的思考）を身に着けるためのワークショップでもファシリテーターの役割を担いました。

今後、地域リーダーたちが具体的な年間計画を立てられるようになることが期待されています。



地域リーダーを対象としたリーダーシップトレーニング



アルサビ小学校（幼稚園の卒園式予行演習）



収入向上活動（山羊の飼育）

エチオピア連邦民主共和国

【エイズ孤児などへの生活支援】

ハンガーゼロは、現地パートナーのFHエチオピアと

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

ハンガーゼロ Hunger Zero

協力して、アムハラ州南ゴンダール地区の3つの集落で、エイズ孤児や危機的な状況に置かれている子どもたちとその家庭への生活支援を実施しています。

極貧家庭 192 世帯の子どもたちが、必要な医療サービスを受けられるように、家族全員の健康保険への加入を支援しました。3つの信用組合の機能強化に取り組みました。これまでに 782 人の保護者が、収入向上活動のために貸し付けを受けました。



新型コロナ啓発活動

孤児等に教科書・文房具・制服などの配給、出席状況のフォローアップなどの教育支援、治療・予防両面における医療サービスへのアクセス支援、社会心理的支援など様々な活動を通して、エイズ孤児等の将来的な自立と生活の安定を目指しています。



教材・制服の提供

コンゴ民主共和国

【地域リーダー育成、農業支援など】

ハンガーゼロは現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC) と協力して、地域リーダーの育成や農業などの取り組みを支援しています。

キンシャサとルブンバシでは、給食の取り組みが途切れることなく行われています。キンシャサの孤児院では、郊外の農地で野菜を栽培し、子ども達 112 人が、毎日食事ができるように取り組んでいます。



孤児院での給食 (キンシャサ)

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

ハンガーゼロ Hunger Zero

共同農園の取り組みをしている上カタンガ州のプウェトでは、例年にない雨不足のため、農作物が不作となりましたが、地域リーダーたちは、次の収穫に向けて改善点を話し合い、歩みを進めています。



ピーナッツの収穫（プウェト）

ケニア共和国

【農業支援、学校給食支援】

ハンガーゼロは、現地パートナーのFHケニアと協力して、メルー州、プウリ地区で学校農園プロジェクトを実施しています。

子どもたちが健やかに育つためには、体をつくるのに欠かせない栄養のある食事を十分に摂れることが重要です。そのためには、学校給食だけでなく、家できちんとご飯が食べられることがとても大切です。

気候変動の影響による農作物の収量の減少と、それに関連した学校給食の食材不足や子ども達の学習の継続困難の課題を解決するため、前年度カイルニ小学校で実施した学校農園の取り組みを、同じ地区のンチョロイボロ小学校とマルルイ小学校の2つの学校で実施しています。設立された学校農園は、気候変動対応保全農法を学ぶ場所として、子どもたちの保護者をはじめとする地域住民に利用されることが期待されています。



ンチョロイボロ小学校の児童たち



マルルイ小学校の児童たち

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216